

西宮湯川記念科学セミナー（記念講演会）の開催状況【S61～R05】

昭和61年（1986年）から平成8年（1996年）までは「講演会」の名称で実施し、平成9年（1997年）より「科学セミナー」の名称になりました。

※敬称略。所属・肩書は当時のものです。

年月日	場所	講師・所属・肩書	テーマ
昭和61年(1986年) 11月9日	夙川公民館	内山 龍雄 帝塚山大学学長	「相対性理論とはどのようなものか」
昭和62年(1987年) 10月25日	夙川公民館	柳瀬 睦男 上智大学教授	「科学と信仰」
昭和63年(1988年) 11月12日	夙川公民館	堀田 凱樹 東京大学理学部教授	「遺伝子はいかにして生物を造るのか?」
平成元年(1989年) 10月28日	夙川公民館	西村 純 文部省宇宙科学研究所長	「宇宙の神秘を解きあかす宇宙科学」
平成2年(1990年) 10月27日	夙川公民館	西島 和彦 中央大学理工学部教授	「素粒子の周期表」
平成3年(1991年) 10月26日	夙川公民館	早川 幸男 名古屋大学学長	「ガンマ線で宇宙を探る」 －西宮の夢からGORまで－
平成4年(1992年) 11月21日	夙川公民館	小柴昌俊 東海大学教授	「素粒子で宇宙を視る」
平成5年(1993年) 10月30日	夙川公民館	中島貞雄 東海大学教授	「科学と技術の間」－超伝導の場合－
平成6年(1994年) 10月29日	フレンテ ホール	甘利俊一 東京大学教授	「脳とコンピュータ」
平成7年(1995年)度は、阪神淡路大震災のため実施せず			
平成8年(1996年) 11月9日	フレンテ ホール	菅原寛孝 高エネルギー物理学研究所長	「物質の根源要素について」
平成9年(1997年) 11月15日	夙川公民館	松田卓也 神戸大学理学部教授	「宇宙の年齢を測る」
11月29日		藪崎努 京都大学理学部教授	「レーザー光で見る原子の世界」
12月6日		大坪久夫 大阪大学理学部教授	「電子線で覗く原子核の世界」
平成10年(1998年) 11月7日 11月14日	夙川公民館	池谷元伺 大阪大学理学部教授 難波孝夫 神戸大学理学部教授	「地震の前、なぜ動物は騒ぐのか」 「現代生活に生きる光物理学」
平成11年(1999年) 11月20日 11月27日	夙川公民館	吉川研一 京都大学理学部教授 高杉英一 大阪大学理学部教授	「生命現象と物理学」 「ニュートリノと宇宙のなりたち」

月日	場所	講師・所属・肩書	テーマ
平成 12 年(2000 年) 11 月 18 日 11 月 25 日	夙川公民館	木下修一 大阪大学大学院理学研究科教授 中村昇 神戸大学理学部教授	「モルフォチョウその青色の謎」 「神戸隕石と太陽系誕生の謎」
平成 13 年(2001 年) 11 月 10 日 11 月 17 日	夙川公民館	水崎隆雄 京都大学大学院理学研究科教授 佐藤文隆 甲南大学理工学部教授	「極低温で見るふしぎな世界」 「空を見ようー青空・白雲・宇宙線・ 相対性原理ー」
平成 14 年(2002 年) 11 月 16 日 11 月 23 日	夙川公民館	天谷喜一 大阪大学名誉教授 舞原俊憲 京都大学理学研究科教授	「酸素が超伝導になる ー極低温・超高压の世界ー」 「すばる望遠鏡で調べる宇宙の 3 不思議」
平成 15 年(2003 年) 10 月 18 日	夙川公民館	交久瀬五雄 大阪大学大学院理学研究科教授	「生命科学のブレークスルー ー田中耕一氏のノーベル賞ー」
12 月 7 日	武庫川学院 公江記念講堂	小柴昌俊 東京大学名誉教授	<西宮湯川記念事業特別講演会> 「物理屋になりたかったんだよ」
平成 16 年(2004 年) 11 月 20 日 11 月 27 日	夙川公民館	外村彰 日立製作所基礎研究所フェロー 外山潔 泉屋博古館学芸課長	「電子で見るミクロの世界」 「最新の科学分析から見た古代青銅鏡」 ー古代中国・日本文化の謎に迫るー
平成 17 年(2005 年) 10 月 15 日 10 月 22 日	夙川公民館	中村卓史 近畿大学教職教育部教授	「湯川秀樹とアルバートアインシュタインー彼らは 100%正しかったか?ー」 「アインシュタイン：天才物理学者の素顔」
平成 18 年(2006 年) 11 月 25 日 12 月 2 日	夙川公民館	佐藤文隆 湯川記念財団理事長 河崎善一郎 大阪大学大学院工学研究科教授	「湯川・朝永生誕百年記念」 「雷雲発生の仕組みと野外観測，衛星観測」
平成 19 年(2007 年) 11 月 10 日 11 月 17 日	夙川公民館	野地博行 大阪大学産業科学研究所教授 嶺重慎 京都大学基礎物理学研究所教授	「細胞のなかではたらくタンパク質を 『見て』『さわって』研究する」 「ブラックホールを見る！」
平成 20 年(2008 年) 11 月 29 日 12 月 6 日	夙川公民館	中辻憲夫 京都大学物質一細胞統合システム拠点拠点長年(教授年) 大西明 京都大学基礎物理学研究所教授	「万能細胞年(ES/iPS 細胞年)とは何か、 その不思議な能力と素晴らしい可能性」 「クオークから元素の合成までー地上の実験で探る物質と質量の起源ー」
平成 21 年(2009 年) 11 月 28 日	市民会館アミ ティホール	益川敏英 京都産業大学教授	「科学とロマン」

月日	場所	講師・所属・肩書	テーマ
平成 22 年(2010 年) 11 月 27 日 12 月 3 日	夙川公民館	米谷民明 放送大学教授 杉山直 名古屋大学教授 村山斉 東京大学数物連携宇宙研究機構 機構長	<西宮湯川 25 周年記念事業> 「超弦理論とはどんなものか」 「宇宙マイクロ波背景放射で明かす宇宙 の現在・過去・未来」 「消えた反物質の謎」
平成 23 年(2011 年) 11 月 26 日 12 月 3 日	フレンテホー ル	坪田誠 大阪市立大学大学院理学研究科 教授 前野悦輝 京都大学大学院理学研究科教授	「量子乱流ーダ・ヴィンチの夢ー」 「超伝導の発見と 100 年の歩み」
平成 24 年(2012 年) 12 月 8 日 12 月 15 日	甲東ホール	平原和朗 京都大学大学院理学研究科教授 下田正 大阪大学大学院理学研究科教授	「大地動乱・巨大地震の時代を迎えて」 「原子核と放射線ー極微な多体系の示す 多様な運動と放射線の持つ特異な性質 ー」
平成 25 年(2013 年) 12 月 7 日 12 月 14 日	勤労会館ホー ル	花垣和則 大阪大学大学院理学研究科 准教授 柴田大 京都大学基礎物理学研究所教授	「質量の起源ヒッグスを追う」 「コンピュータで探る一般相対論の世 界」
平成 26 年(2014 年) 12 月 6 日 12 月 13 日	フレンテホー ル	高柳匡 京都大学基礎物理学研究所教授 佐々真一 京都大学大学院理学研究科教授	「超ひも理論の最前線：ブラックホール からホログラフィー原理へ」 「小さなシステムのゆらぎと情報のダイ ナミクス」
平成 27 年(2015 年) 11 月 23 日	西宮市民会館 アミティホー ル	村山斉 カリフォルニア大学 バークレー校教授	<西宮湯川 30 周年記念事業> 「宇宙に終わりはあるか」
平成 28 年(2016 年) 12 月 3 日 12 月 10 日	フレンテホー ル	延興佳子 京都大学大学院理学研究科 准教授 中村卓史 京都大学名誉教授	「原子核の不思議なふるまいと元素の起 源」 「重力のさざ波の発見」
平成 29 年(2017 年) 12 月 9 日 12 月 16 日	フレンテホー ル	細谷裕 大阪大学名誉教授 川上則雄 京都大学大学院理学研究科教授	「アインシュタイン、湯川、南部ー素粒 子と真空の向こうに」 「トポロジカル物質って何？」

月日	場所	講師・所属・肩書	テーマ
平成 30 年(2018 年) 12 月 8 日 12 月 15 日	フレンテホール	佐々木節 京都大学 名誉教授 東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 特任教授 藤井啓祐 京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻特定准教授	「重力波天文学の夜明け」 「量子コンピュータ：宇宙最高のコンピュータへの挑戦」
令和元年(2019 年) 12 月 7 日 12 月 14 日	フレンテホール	萩野浩一 京都大学大学院理学研究科教授 橋本幸士 大阪大学大学院理学研究科教授	「超重元素の世界：ニホニウムの先にあるもの」 「ディープラーニングと物理学」
令和 2 年(2020 年) 12 月 5 日 12 月 12 日	フレンテホール	田中耕一郎 京都大学大学院理学研究科教授 樽家篤史 京都大学基礎物理学研究所准教授	「光で物質を視る、操る、創る —光物理学の最先端—」 「広がる宇宙・つながる世界」
令和 3 年(2021 年) 12 月 4 日 12 月 11 日	フレンテホール	中家剛 京都大学大学院理学研究科教授 保坂淳 大阪大学核物理研究センター教授	「素粒子ニュートリノで見る小さな世界と大きな宇宙」 「クォークが作るハドロンと原子核の世界」
令和 4 年(2022 年) 12 月 3 日 12 月 10 日	フレンテホール	波多野恭弘 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻教授 石原秀樹 大阪公立大学南部陽一郎物理学研究所特任教授	「地震予知はなぜ難しいか」 「ブラックホールが見えた!？」
令和 5 年(2023 年) 12 月 2 日 12 月 9 日	フレンテホール	伊藤悦子 京都大学基礎物理学研究所准教授 中野貴志 大阪大学核物理研究センターセンター長・教授	「量子の世界を計算する」 「量子少数多体系、ハドロン、原子核：物理学の不思議から未来技術へ」